

建設経済部 目標

【概要】

建設経済部は、都市政策課・建設課・商工観光課・農林水産課の4課で構成し、適正な土地利用の誘導、道路・橋りょう及び水路の管理・補修及び整備、市営住宅、農林水産業、商工業及び観光、労政に関する施策に取り組んでいます。

建設経済部の目標（令和元年度）	建設経済部長 宮崎 一行
【基本方向】 <p>市民生活や経済活動にとって重要な都市基盤の整備と維持管理を、効果的、効率的に行うことで、市民が今後も住み続けたいと感じられるような魅力あるまちづくりを推進します。</p> <p>自然環境を配慮した農林水産業と活気に満ちた商業や工業の発展を目指します。 観光資源等を発掘し、市の魅力づくりに努めて参ります。</p>	
【達成すべき目標】 <ol style="list-style-type: none">1 国・県・関連市町村との連携 関係各機関への要望や調整会議等の開催、また各事業の課題に対する打ち合わせを密にし、各事業の着手予定が大幅に後退しないよう情報の共有を図ります。2 部内、課内会議による情報の共有及び各課横断的な連携体制の確立 部内の組織改変（建設課の係を統廃合）があったため、会議等を開催し情報共有を図るとともに、災害時やイベント時の部内応援体制など連携を図り取り組みます。3 富津市経営改革プランに掲載された各事業の見直し<ol style="list-style-type: none">① 都市計画事業等の見直し② 普通建設事業の見直し	【目標の達成度】 <ol style="list-style-type: none">1 国・県・関連市町村との連携 概ね、情報共有はできているものの、今回の台風関連交付金事業ははっきりした制度設計が決まらない中での実施のため、苦慮しています。2 部内、課内会議による情報の共有及び各課横断的な連携体制の確立 3ヶ月に1度の部内会議の開催を予定していましたが、台風の影響により10月は未開催ではありますが、部内の共通認識は図れています。3 富津市経営改革プランに掲載された各事業の見直し<ol style="list-style-type: none">① 都市計画事業等の見直し 都市計画道路の変更（縮小）について、県と協議したところ見直しは困難でありました。② 普通建設事業の見直し 道路整備事業については、個別事業の緊急性や必要性を見極め、事業を実施しました。 また、インフラ長寿命化については、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕を実施しました。

都市政策課 目標

【概要】

都市政策課は、建設政策係・建設調査係・建築住宅係の3係13名で構成し、適正な土地利用の誘導、地籍調査、建築行政、市営住宅の管理に取り組んでいます。

都市政策課の目標（令和元年度）	都市政策課長 茂木 雅宏
【基本方向】 <p>都市公園、市営住宅等を適切に維持管理するとともに、公共建築物の営繕業務を適切に実施します。また、都市計画、開発行為、建築等に関する情報を的確に提供し、まちづくりを推進します。</p>	
【達成すべき目標】 <ol style="list-style-type: none">1 市民ふれあい公園施設長寿命化計画 施設の老朽化に伴い、計画的な施設の改修を行い利用者の安全や快適な利用のため、市民ふれあい公園施設長寿命化計画を策定します。2 地籍調査事業 地籍を明確にし、土地の有効利用を促進するため、適切な工程管理を行い、事業の進捗を図ります。3 住宅耐震補助事業 地震に強いまちづくりを実現するため、耐震診断及び耐震改修等の必要性について、ホームページ等により情報提供等を積極的に行い、事業の執行に努めます。	【目標の達成度】 <ol style="list-style-type: none">1 市民ふれあい公園施設長寿命化計画 令和2年3月をもって策定しました。2 地籍調査事業 西大和田の一部の区域0.5km²において、境界確認、測量及び地籍図作成工程を実施し、事業の進捗を図りました。3 住宅耐震補助事業 無料相談会を4回開催し、5件の個別相談があり、そのうち3件の耐震実地診断を実施しました。また、耐震改修工事補助を1件、併せて行うリフォーム工事補助も1件行いました。

建設課 目標

【概要】

建設課は、管理補修係・用地係・建設係の3係18名体制で、道路・河川・法定外の公共用財産・その他公共土木施設の整備・維持管理及び市道の認定、廃止、変更事務の業務に取り組んでいます。

建設課の目標（令和元年度）	建設課長 藤川 幸男
【基本方向】 利用者が安全・安心で快適に利用できるよう、道路・橋りょう等の適正な管理を行うと共に、より良い環境で利用できる道路・橋梁等の施設整備を効率的に行います。	
【達成すべき目標】 1 交付金事業の積極的な活用 国の交付金配分に併せた事業量の見直しを行い、コスト削減を図りながら、道路・橋梁及び水路の建設、用地の確保を実施します。 2 道路改良事業の円滑な実施 (下飯野線・浅間山線・湊富士見台線) 工事については、地元調整を行い、今年度分を実施します。 用地については、下飯野線は今年度中に取得します。浅間山線及び湊富士見台線は必要となる用地について用地測量・修正設計を実施し、用地取得を実施します。 3 各区長からの要望事項への対応 要望に対して、現地調査、関係部局との協議や打合せを実施し、早急な対応及び回答ができるよう連携を図ります。 4 橋梁長寿命化事業の円滑な推進 詳細設計を行い、次年度の工事発注が早期にできるよう、地元区及び関係機関との調整を実施します。併せて、交付金の交付手続きも実施します。	【目標の達成度】 1 交付金事業の積極的な活用 国の交付金配分に併せた事業量の見直しをして事業を行いました。 また、土砂の工事間流用を実施しコスト削減を図り工事を実施しました。 2 道路改良事業の円滑な実施 台風等の影響もあり、年度内の完成ができず、繰越事業（浅間山線・湊富士見台線）となりました。 用地については、下飯野線は地権者の意見を伺い設計変更し交渉を継続中です。 浅間山線及び湊富士見台線については、修正設計及び用地測量が終了次第、用地取得を実施したいと思います。 3 各区長からの要望事項への対応 関係部局等との連携を図ることにより、概ね、早期の対応をすることができました。 4 橋梁長寿命化事業の円滑な推進 詳細設計を実施、設計が完了したものについては、順次工事発注を実施しました。

商工観光課 目標

【概要】

商工観光課は、商工係、観光係の2係7名で構成され、商工業の振興や観光振興に係る主要な施策に取り組んでいます。

商工観光課の目標（令和元年度）	商工観光課長 阿部 淳一郎
【基本方向】 商工に関する振興施策や観光に関する振興施策を検討し、広域連携による具体的な商工・観光事業を実施することにより、地域の実情に応じた活性化対策を推進します。	
【達成すべき目標】 <ol style="list-style-type: none">事業承継事業の推進 商工会と連携し、経営者の抱える後継者問題や将来の事業承継について状況把握しつつ、経営者や後継者が計画的に事業承継をできるようサポートします。広域連携等による観光客の誘致 様々な情報媒体を活用し、県内外に観光PRを行い、総合戦略で掲げている2,800千人を目標とします。温泉供給事業経営の存続時期の検討 長期的に安全・安心でかつ安定した温泉供給事業が困難なため、温泉利用者に理解を得ながら、今後の方針を決定します。プレミアム付商品券事業の実施 適正に対象者の把握に努め、関係機関との調整を図り、商品券の販売・換金業務を円滑に行います。	【目標の達成度】 <ol style="list-style-type: none">事業承継事業の推進 二代目育成塾・事業計画作成セミナーを開催し、延べ53名に支援を行い、個別相談会では延べ40名の支援を行いました。 事業承継を準備するための参加者が多く、承継の啓発を行うことができました。広域連携等による観光客の誘致 宿泊・滞在型観光推進協議会、アクアラインイースト観光連盟による、モニターツアー・ファミトリップを実施し、ブロガー、ライター等による観光情報を県内外に発信し、誘客の推進を行いました。目標の入込数の増加には至りませんでした。温泉供給事業経営の存続時期の検討 温泉利用者の減少や、温泉供給事業としての財政計画や修繕計画等「経営改善を図る抜本的な対策」が見込めない状況であることから、令和3年3月31日をもって温泉供給事業を廃止する方針を決定し、利用者への説明及び利用者の了承の後、市議会総務産業常任委員会協議会にて説明を行いました。プレミアム付商品券事業の実施 対象者の抽出・申請受付・引換券の発送など円滑に行うことができました。 また、委託事業者である商工会と連絡や調整を行い、順調に業務の遂行を行いました。

農林水産課 目標

【概要】

農林水産課は、農政係、農業振興係、水産係の3係16名で構成し、農林水産業の振興、農業経営、農業の産業化、鳥獣による農林水産業の被害防止、農山漁村の振興、農林水産業施設整備及び維持管理に取り組んでいます。

農林水産課の目標（令和元年度）	農林水産課長 棟方 雅典
【基本方向】 農林水産業の発展と農山漁村の振興及び農林水産業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための事業を推進します。	
【達成すべき目標】 <ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="199 757 766 1131">1 農林水産業の多様な担い手の育成・確保 関係機関、団体と連携し、認定農業者等経営感覚に優れた農林漁業の担い手の育成・確保、法人化の促進及び新規就業者や他産業からの離職就業者への就業相談等の実施や農林漁業技術習得を促進し、担い手の増加を図ります。<li data-bbox="199 1187 766 1601">2 有害鳥獣対策 富津市有害鳥獣対策協議会による有害鳥獣捕獲事業、防止柵設置事業を支援するとともに、農作物被害対策を実施し、有害鳥獣の捕獲（イノシシ 3,300頭、サル100頭、シカ 1,000頭、キョン20頭）及び侵入防止柵の設置（電気柵 3,372m、物理柵 20,941m）並びに捕獲わなの導入を行います。<li data-bbox="199 1657 766 1848">3 漁港施設機能保全工事の実施 国の水産物供給基盤機能保全事業を活用し、平成29年度に策定した機能保全計画に基づき機能保全工事を実施します。	【目標の達成度】 <ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="813 757 1372 985">1 農林水産業の多様な担い手の育成・確保 認定新規就農者が3名増加しました。現在も認定に向けての指導等は数名に対して行っています。<li data-bbox="813 1187 1372 1411">2 有害鳥獣対策 捕獲頭数は、ほぼ例年と同数が捕獲されました。侵入防止柵については、電気柵3,503m、物理柵26,180mを整備しました。<li data-bbox="813 1657 1372 1848">3 漁港施設機能保全工事の実施 水産物供給基盤機能保全計画に基づき、大貫漁港第6防砂堤（その1）の機能保全工事を実施しました。